

「令和6年度施政方針並びに予算編成大綱」の要旨

- 市長就任後、本市を取り巻く環境は大きく変わってまいりました。インターチェンジ開通により交通アクセスが飛躍的に向上。東部第二土地区画整理事業に続き、インター周辺の産業拠点整備、小田急電鉄（株）による総合車両所の建設計画が進むなど、本市の持続的な発展に向けた環境づくりを積極的に進めることができました。また、ICT化が急速に進展し、今後は、デジタル技術を活用した更なる市民サービスの充実等が求められていくものと捉えています。
- 「令和6年能登半島地震」について、改めてお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興に期待するところです。決して他人事ではなく、我々の周辺でも起こり得ることを再認識しておかなければなりません。現在、地域防災計画の見直しを進めており、市民の皆様の安全・安心の確保のため、大規模災害に備えた実践的な体制の構築を計画的に進めていく必要があるものと考えています。
- 政府は、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を閣議決定しました。しかし、令和6年度においては、市税の増収を見込むまでには至っておりません。一方で、社会保障関係費、国の制度改正への対応等に伴う負担も増加しています。
- このような社会経済動向を背景に、令和5年4月に「伊勢原市第6次総合計画」をスタートさせ、将来都市像の実現に向けて新たな一步を踏み出したところです。この歩みを確かなものとしていかなければならないとの基本認識の下、令和6年度予算は、「第6次総合計画・実施計画の重点事業を着実に推進する」ことをめざして編成しました。
- 市民の皆様の安全・安心に配慮し、必要な行政サービスの継続性を確保することを基本として改めて事業の内容、実施方法等を精査し、必要最小限の額とすることといたしました。その上で、次代を担う子どもたちを安心して産み育てることができる環境の充実や、税財源のかん養等に向けた投資については継続・拡充を図りました。
- さらに、行政改革やICT化の推進など、事務事業の節減効率化を図る取組へ財源を配分することとしたほか、公共施設の長寿命化、市立小中学校の在り方検討をはじめとする課題解決に向けた取組など、未来への道筋をつけるための予算編成に取り組んだところです。
- なお、施策推進に伴い、多額の財源不足が生じることから、特定財源の有効活用、市債の適切な活用を見込み、最低限必要な残額を確保した上で財政調整基金を繰り入れることとしました。施策推進と財政健全化とのバランスを図り、積み増しに努めてまいりたい考えです。

第6次総合計画・実施計画に位置付ける重点事業（主なもの）

防災・安全分野 <ul style="list-style-type: none">● 避難所マンホールトイレユニット整備事業● 秦野市・伊勢原市共同消防指令センター整備事業● 自転車等駐車場整備事業
福祉・保健分野 <ul style="list-style-type: none">● 発達障がい児者及び家族等支援事業● 市体育館エントランスホール空調設備改修事業
子育て・教育分野 <ul style="list-style-type: none">● 妊産婦健康診査等助成事業● 小児医療費助成事業● 子どもの貧困対策推進事業● 子ども家庭支援拠点整備事業● 若者のひきこもり支援事業● 市立小中学校在り方検討事業● 小中学校校舎等改修事業● 図書館・子ども科学館施設長寿命化事業
産業・環境分野 <ul style="list-style-type: none">● 中小企業先端設備導入促進事業● カーボンニュートラル推進事業● 草木類分別収集・資源化事業
都市基盤分野 <ul style="list-style-type: none">● 伊勢原駅北口市街地整備推進事業● 伊勢原大山インター土地区画整理推進事業● 都市計画道路田中笠窪線整備事業● 安全な歩行空間整備事業● 空き家対策推進事業
市民・行政分野 <ul style="list-style-type: none">● 地域活動支援事業● 行政改革推進事業● 市民文化会館施設改修事業● 自治体情報システム標準化・共通化事業